



MIKI
INTERNATIONAL
ASSOCIATION

VOL.52

2014.7

平成26年7月

三木市国際交流協会

三木市国際交流協会総会・記念公演

MIA GENERAL ASSEMBLY in 2014

2014/5/23

教育センター大研修室

若葉の鮮やかな季節、清々しい風が心地良い5月23日（金）10時から平成26年度三木市国際交流協会総会及び、記念公演を三木市教育センターで開催しました。会場には、協会の会員など60名を超える皆様に参加いただきました。

総会は4月の理事会で承認された宮永淳新会長のあいさつに続き、松本教育長、そして、内藤博史市議会副議長からもご祝辞をいただきました。会計監査は有野理事、進行は萬谷副会長、閉会あいさつは五本上副会長でした。

議長、宮永会長の司会で進められた議事では、平成25年度事業報告及び決算報告、平成26年度事業計画及び予算案について原案通り承認されました。なお、前会長の前田君司氏には、5年間就任いただきました。また、所属する団体の組織替えや人事異動による新しい理事を含めて22名の方に就任いただくことになりました。（決算・予算は2ページに掲載しています）

総会のあとの記念公演では、三木市出身のDONIDONIというグループに「生活に根づく音楽～音楽を通して見えてくる、ギニア人の生きる力～」と題して、国や文化について映像を交え紹介いただきました。さらに、伝統楽器に合わせてダンスや歌唱を披露していただきました。



平成26年度国際交流協会役員（敬省略）

会長

宮永淳

理事

藤田 譲・金井宏美・八田宋晃
奥野峯子・興柁輝政・田中啓介
安井由次・阪本靖郎・上河創
花村諭・久木茂昭・田中達也
中西眞佐子

監事

有野勇
土肥勝彦

副会長

五本上照正
澤田陽一
萬谷恵子

顧問

藪本吉秀
松本明紀
前田君司

以上の方々就任いただきました

総会あいさつ
新会長 宮永淳



緑の風薫る本日、「平成26年度三木市国際交流協会総会」のご案内をいたしましたところ、ご来賓を始め、多くの皆様にご参会いただき誠にありがとうございます。

私は、過日の理事会で三木市国際交流協会の会長に選任されました「宮永淳」でございます。今や、当協会の事業は国際交流や多文化共生など、多くの分野に広がっていることを知り、大きな責任を感じています。皆様のご支援ご協力をいただき、精いっぱい努めてまいります。

さて、当協会では年間を通して多くの事業を継続実施しています。そして、これらのほとんどが、皆様の会費とボランティア活動により支えられています。とりわけ、**ことばの教室「日本語クラス」**には多くの市内在住の外国人の皆様が集い、

会員ボランティアのサポートを受けて熱心に学習されています。

また、姉妹都市交流事業として、1966年から交流を継続している**米国バイセリア市**に続いて、**豪州コロワ市**も加わり、両市との交流が常に行なわれるようになっていきます。

このように国際化が進み、三木市でも外国人との出会いがますます多くなっています。これらの出会いはうれしいことですが、言語や文化の違いからお互いに意思疎通ができないこともあります。外国の人に日本の文化を知っていただき、逆に、わたしたちが外国の文化を知ることも必要となります。このために、当協会の活動をますます充実発展させねばと思います。私も、奉仕の汗や気持ちを大切にしながら、会長として努めて参ります。

最後になりましたが、本日の議案について慎重に審議いただくとともに、今後のご支援ご指導をお願いしてあいさつといたします。ありがとうございました。

市長祝辞
三木市長 藪本吉秀

平成26年度三木市国際交流協会総会のご開催を心からお喜び申し上げます。

国際交流協会の各種の取組に感謝申し上げますとともに、貴協会のますますのご発展と皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。



平成25年度収支決算

収入額 9,271,660円
支出額 8,658,216円
差引額 613,444円

項目	収入額(円)	項目	支出額(円)
会費	1,092,000	会議費	7,044
補助金	3,203,000	事務局費	3,804,067
事業収入	4,111,165	事業費	4,747,105
周年事業繰入金	0	周年事業費	0
繰越金	865,495	予備費	0
寄付金	0	積立金	100,000
雑収入	0		
計	9,271,660	計	8,658,216

平成26年度予算案

収入額 9,104,444円
支出額 9,104,444円
差引残高 0円

項目	収入額(円)	項目	支出額(円)
会費	840,000	会議費	20,000
補助金	4,200,000	事務局費	3,900,000
事業収入	3,450,000	事業費	5,034,444
繰越金	613,444	予備費	50,000
寄付金	0	積立金	100,000
雑収入	1,000		
計	9,104,444	計	9,104,444

ことばの教室大盛況です!!!

5月第3週から始まった14クラスの「ことばの教室」が順調に進んでいます。新しく「韓国語中級」や「英会話初級B」も増えました。途中からも受講いただけますので、ご関心のある方のお申し込みをお待ちしています。

月曜

英会話実用 7名
日本語
(外国人学習者)41名
(ボランティア)34名

火曜

韓国語入門 4名
韓国語初級 14名
韓国語中級 15名
英会話中級 16名

水曜

英会話初級A 15名
英会話初級B 15名
News In English 4名

木曜

英会話入門 11名
中国語入門 5名
中国語初級 4名

金曜

英語表現活動 8名
スペイン語 7名
合計 200名

韓国語初級



新講師
ヒロノブ 佐藤

英会話初級B



サマンサ チャン
Samantha Chang

スペイン語



原田 パオラ



講師：DONIDONI

DONIDONIのリーダー中橋さんをはじめメンバーの方々は、国内のイベントでアフリカの音楽に魅了され、単独またはグループで、ギニア共和国を数回訪問されました。現地で楽器演奏、ダンスや歌唱を習得され、2007年にDONIDONIを結成。「ドウノドゥニ」とはマリンケ族の言葉で「ゆっくり、ゆっくり」という意味で、気長に音楽活動を続けたいとの思いが込められています。

公演では、観客と演奏者の垣根を取り払い、ひとつの大きな「輪」と「和」を作り上げていただきました。近年、経済成長著しいアフリカの国々ですが、太古から脈々と受け継がれた音楽や伝統は、生活の中に息づいていると実感しました。

Q. ギニア共和国はどこにある？どんなところ？

- 【首都】 コナクリ
- 【面積】 24万5,857km² (日本の本州より少し大きいぐらい)
- 【人口】 約1,500万人 (日本の約10分の1)
- 【言語】 公用語はフランス語、その他各民族の言葉
- 【民族】 マリンケ族、スス族、フラ族 (その他少数民族多数)
- 【宗教】 イスラム教 (約85%) キリスト教 (約8%)
- 【時差】 -14時間 (対日本)
- 【食事】 主食は米とフランスパン
主菜は魚、ヤギ、牛、鶏、ダチョウなど

Q. ギニア人にとっての「音楽」とは？

【職業音楽家・グリオ (ジユリ) の存在】
「歴史」「ルーツ」を知るもの



【リズムと言葉】
タイコは演奏するものではなく話すもの！？



演奏曲

- ♪ Fefo / フェフォ 女の子たちのお祭り。
フェ=ひょうたん フォ=やろう！
歌は、みんなでタイコ叩きを迎えに行こう！
- ♪ Soli / ソリ 成人の儀式 (割礼) のときに演奏される曲。
歌は、親の子どもを思う気持ちを歌っています。
- ♪ Anbe soma / アンベ ソーマ お祭りの最後や、お別れのときに演奏される曲。
アンベ ソーマ=また明日、おやすみ



JICA 関西写真展

市役所プロムナードに世界8ヶ国の人々の暮らしや世界の子どもたちの笑顔を展示しました。
(兵庫県出身のJICA青年海外協力隊による撮影)



姉妹都市バイセリア市に滞在して

2008年度豪州コロワ市派遣団・米国バイセリア市訪問団ホストファミリー 吉田雄紀



この春、バイセリア市のキャロル・エンズ家に2週間ホームステイをさせていただきました。キャロルさんの長女は、1997年の姉妹都市訪問団の一員で、キャロルさん自身は昨年、17年ぶりに娘さんのホストファミリーを訪問されました。そのとき母を通して知り合い、一緒に直島へ日帰り旅行をしました。帰国後も「いつでもバイセリア市に遊びにおいでね!」のメッセージをいただき、渡米を決めました。



平日はキャロルさんが教鞭をとる大学で学習しました。英語の授業では、先生が英語の発音方法を一对一で丁寧に教えてくださり、とても良い経験でした。ある授業のとき、感謝の気持ちを込めてお辞儀をしたら、先生が見ましたかと言わんばかりに、“Oh, Japanese bow! (日本式お辞儀)”と感激され、逆に戸惑いました。学内では、多くの人に積極的に話かけ、ランチやショッピングをする友人ができました。休日には、海岸へ野生のオットセイやセイウチを見に行き、セコイヤ国立公園、セントパトリックスディーパレード(緑色のものを身につける祭り)に参加しました。



バイセリア市消防士による消防訓練の見学、参加の際には、とてもフレンドリーにいただきました。鍛え上げた体とサングラスがかっこ良かったです。

“姉妹都市ペンパルプロジェクト”の相手校、Conyer (コーニャ) 小学校で、三木市立別所小学校について説明。とても緊張しましたが、生徒が真剣に聞いてくれたのと先生の助けがあり、充実した時間を持つことができました。別れ際に生徒から、“Thank you, Yuki”と生徒たちの署名入りのメッセージもらったのは嬉しかったです。

この訪問に関してご尽力いただいた方々に感謝しています。2008年にバイセリア市から我が家にホームステイしたホワンとその家族にも感動の再会できたこともあり、今回の旅は意義のある“国際交流”でした。

ホストファミリー募集 HOST FAMILY-SEEKING



三木市の姉妹都市であるオーストラリア・コロワ市から学生訪問団が三木市に滞在します。彼らを受け入れてくださるご家庭を募集しています。



[訪問日程] 10月1日(水)~10月10日(金)

- 1日(水) 午後 ホストファミリーとの顔合わせ
- 2日(木) 午前 歓迎式
- 4日(土) バス旅行
- 5日(日)・6日(月) ホストファミリーと過ごす
- 9日(木) 午後 送別パーティー
- 10日(金) お別れ

*活動内容は変更する場合があります。上記日程以外は、協会による市内見学(学校訪問、工場見学など)を行いますので、市役所までの送迎のご協力をお願いします。

[応募締切り] 7月31日(木)

[申し込み方法]

申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、MIA事務局へご提出いただくか、メールに添付送信でも受け付けます。

*申込み多数の場合は調整させていただきますのでご了承ください。

- ★ 特別なおもてなしは必要ありません。ご家族の一員として扱ってください。
- ★ 日本の日常生活を体験していただき、相互に草の根レベルの国際交流を体感できる良い機会です。
- ★ マッチング後は、事前にお互いにメール交換などで連絡を取っていただくことも可能です。

[訪問団員]

- 中高生(14歳~17歳) 10名
- 引率者(3名)
- *1家庭に1名~2名程度
- *2名の場合は同性です



2009年度 訪問団歓迎式

[お問い合わせ]

三木市国際交流協会(河越・坂本)
TEL:0794-89-2318
FAX:0794-82-9755
Email:kokusai@city.miki.hyogo.jp

第1回国際理解講座「セネガルと、そして日本の笑顔のために」

2014/6/22 市役所5階大会議室



講師：藤岡 美保子（NGOボックジャンパール副会長）



JICA海外青年協力隊として西アフリカ、セネガルで活動された藤岡さんが、その2年間の体験をもとに人々との交流や文化などについて、さらには任務の**学校環境改善プロジェクト**に関わる話をしてくださいました。

生活は決して楽ではないのに、いつも笑顔で、困っている人に手を差し伸べるセネガルの人々。*****タリベや食事が不足している人のために食事を余分に作るそうです。また、彼女自身がバイクで転倒した時には、周りの人々が急いで駆け寄ってくれたと懐かしそうに語られました。

講演終了後、梅雨空を見上げながら、遠いセネガルに繋がっているこの空の下で営まれる**“人々の生活”**に思いを馳せ、便利な日本の生活を当然だと思っている我々の生活様式について自身に問いかけました。

***** 本来の意味はイスラム聖者の弟子、実際は物乞いの子どもたち

- 【国名】セネガル共和国 (République du Sénégal)
- 【首都】ダカール
- 【面積】19万7161km² (日本の約半分)
- 【人口】1310万人 (東京23区ほどの人口)
- 【言語】フランス語 (公用語) ウォロフ語など多民族語
- 【民族】ウォロフ族 (44%) プル族 (23%) セレール族 (15%) その他
- 【宗教】イスラム教 (95%) キリスト教 (3%)
- 【主要産業】農業 (落花生、ヒエ、綿花)
漁業 (まぐろ、かつお、えび、たこ)

セネガルの人口の半数以上は国際貧困ラインに満たない水準 (一日1.25ドル以下) の生活を営んでいる

【家族】先進国とは違い、時には一つの敷地に親戚や知り合いの人を含め、30人ほどの家族が住んでいる

【一夫多妻制】一人の男性が4人まで妻を娶ることができる

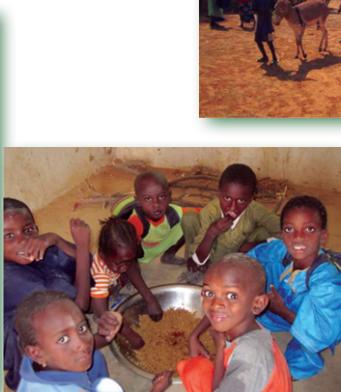
【食事】主食は米、朝食には道端で販売しているフランスパンを食べる

【教育】保護者の無関心
家の手伝いや学費が払えないため、学校に行けない子どもたちがいる

【その他】水道やトイレの設備がほとんどない
女性の地位が低い
ゴミの問題



野菜栽培用の委員会づくり、畑作り、柵作り、野菜栽培を農業隊員と共に指導・補助を行った



NGO Bokk Jambaar (ボックジャンパール) 文房具1万点プロジェクト

ご家庭に眠っている新品の文房具はありませんか？

セネガルの学校では文房具が不足しており、鉛筆・ペンは一人一本くらいで、色鉛筆やカラーペンは皆無です。景品や記念品でも結構ですので、ご協力いただければ幸いです。

三木市国際交流協会までお持ちください。

地域住民参加による給食活動を補助する

年々充実する日本語クラスで、40名弱の外国人学習者が30名ほどの日本語ボランティアとともに日本文化を学習・体験しました。講師の井口氏の俳句についての簡単な説明に続き、「なぞなぞ」などの言葉遊びに外国人学習者は興味津々でした。全員が理解したわけではないのですが、この活動でリラックスでき、言語習得に欠かせない推測のためのウォーミングアップとなりました。同時に、ボランティアにとっても外国人の創作活動を支援するための*ブレインストーミングとなりました。

数作品を作り、最も良いものを色紙に筆ペンで書きました。慣れない筆ペンを巧みに使い、見事な作品となり、クラスの結束は強まりました。

*自由にアイデアを出し合って、優れた発想を引き出す方法

初めて筆ペンを使いましたが、すぐに慣れました。

先生の説明がよくわかり、次から次とアイデアが浮かびました。

日本の文化を体験できて、嬉しかったです。



日本語クラス「俳句教室」を終えて

講師：井口 幻太郎(日本詩人クラブ会員・詩人)

外国籍の皆さんの日本語の勉強は、とても積極的で、明るく取り組むことが出来ました。日本語ボランティアの方々のご尽力もあって、出来上がった作品は、どれも瑞々しく屈託がありません。大胆で奇抜な句もありました。そして、何より「平和」を感じました。また、故郷や父母への思慕を詠んだ句もあり、**国籍を越え、この心の普遍性**を感じました。これを契機に、俳句だけではなく、日本の多くの文化に心を寄せてもらえれば幸いです。



NEW FACE

トゥアフ ウォーレンティニ トーマス

ニュージーランド出身
2013年8月来日 学習歴10ヶ月



A-1185◆吉田 恵子 (日本語ボランティア)
トゥアフさんは、ラグビーが大好きなスポーツマン。週末にはラグビーの練習や試合のため、阪神地区へ行っているそうです。可愛い奥様クレアさんとALTの仕事をしています。学習はテキストを使って会話を勉強し、身近に使う言葉に置き換えて、語彙を増やしています。とにかく会話が大好きで、前向きに勉強する彼をサポートしていきたいです。

*ALT=英語助手

ヴズアン タオ

ベトナム出身
2014年3月来日 学習歴2ヶ月



A-1478◆赤松 早苗 (日本語ボランティア)
タオさんは大変熱心な方です。仕事もあり、一人暮らしで家事炊事と忙しいのですが、先日も、始めたばかりのテキスト「みんなの日本語Ⅱ」を「もう、35課まで読みました」と、さらっと言われました。日本語能力検定試験も受験したいそうです。文法、会話、漢字もと意欲满满です。こちらも負けなように学習の準備を怠らず、楽しく勉強していきたいと思っています。

スマン リヤント

インドネシア出身
2012年来日 学習歴8ヶ月



A-1475◆和泉 基子 (日本語ボランティア)
日本での生活の中で楽しいことの一つに「ことばの教室に来ること」を上げてくれるほどいつも熱心で、一語一語、丁寧に言葉を発信してくれます。インドネシア人や日本人の同僚と仕事をこなし、休日は買い物に出かけるなど、充実した日々を送っている様子、帰国後は日用品屋を開く夢があるそうです。目下、日本語検定受験に向け勉強中、私も少しでもお役にたてたらと思います。

関西国際大学 ★ ベトナム人留学生 グエン ハントウイ チュック

5月5日の子どもの日、私は留学生の皆さんと一緒に三木市の別所公春まつりに参加しました。日本に来てから、初めて見た日本の祭りです。私の国では祭りは少ないですし、子どもの日もありません。それで、日本の祭りに参加できてうれしかったです。

三木市国際交流協会で日本語を勉強している外国人と友達になり、とても楽しかったです。生まれて初めての着物—日本の伝統的な服を着た感想は、着るのは大変ですけど、とてもきれいだと思います。

祭りを通じて、日本文化、特に日本の武者行列を深く理解できました。留学生としては、興味深い体験だと思います。機会があれば、また日本の祭りに参加したいと思います。



▲「さあ、かかって来い!!!」その勢いはいさながらお姫様を守る武士のようでした

国際交流 “ネパール” 紹介

2014/5/7

三木市立平田幼稚園

「うわーきれい!」「すごい高い山だね!」幼稚園児のみんなは、ネパールについてすごく興味を持ってくれて、一緒に楽しく遊べて嬉しかったです。



A-790 ◆ 前田 和子 (日本語ボランティア)

アラビアンナイトのお姫様のようなネパールの伝統衣装に身を包んだバンダリ シタ クマリさんが平田幼稚園のアーチをくぐると、かわいい園児たちの大歓迎を受けました。

自己紹介の後、大北先生の伴奏で手をつないで日本のお遊戯で盛り上がり、すっかり打ち解けました。あわせてこの1年間、日本語クラスで習得したことばで園児たちと意思疎通がスムーズに図れました。

ネパールの言葉や文化についての質問タイムでは、美しい自然や様々なお寺の写真を食い入るように見て、「行ってみたい、行ってみたい!」と叫ぶ園児たち。

最後はシタちゃんがネパール風のリフティングを華麗に披露。美しい衣装の裾を巧みにひるがえしながら、色鮮やかな輪ゴムを束ねた玉を下に落とすことなく片足で蹴り上げていく様に園児たちは大歓声でした。園児たちもトライしてみて、初めての異文化交流は印象深く終わりました。

在住外国人による出前講座を行っています!

詳しくは協会へお問い合わせください。

日本語クラス バス旅行

2014/6/29

「出発進行!」小学生を含む中国、タイ、ネパール出身の日本語学習者とボランティア19名を乗せたバスは一路淡路島へと向かいました。

最初の目的地の淡路人形浄座では、素浄るり、人形解説、そして戎舞を観賞しました。500年以上も続く伝統のプロフェッショナルの技に全員驚嘆。太夫の難しい語りを熱心に聴き、人形の動きを食い入るように見つめていました。

樹齢900年といわれる大楠を見に伊弉諾神宮を訪れた頃には、汗ばむほどの陽気となり、枝枝の間から見える陽光が眩しいほどでした。

最後に吹き戻しの里で吹き戻しを作成。オリジナリティあふれる吹き戻しの作品で遊ぶ子どもたちを見ていると、我々も童心に返り思わず吹き出してしまいました。日本再発見の一日となりました。



リアル過ぎる!鯛は本物の魚だと思った。本当の人間のように、戎様がお神酒を飲んで酔っ払ったのが面白かった。

バタク サムラト

人形の表情が、からくりとテクニクで表現されていることに興味を持ちました。鯛を釣って大笑いするシーンは楽しかったです。

バンダリ シタ

若い女性の太夫が、男の人の太い声を出しているのを聞いて、鳥肌が立ちました。

佟 愛音



平成26年度事業計画 (平成26年7月～平成27年3月)

7月	広報誌M I A 5 2号発行
7/19	こども英会話
7/26	みっきい夏まつり
8/1	医療通訳セミナー
8/13	サマーイングリッシュレッスン
9月	チャリティーバザー物品受付開始
9/7	第2回国際理解講座
10/1	豪州コロワ市訪問団来日
10/10	豪州コロワ市訪問団帰国
10/15	国際チャリティーバザー準備
10/18	こどもハロウィンパーティー共催

10/22	国際チャリティーバザー準備
10/31	国際チャリティーバザー最終整理
11/1・2	金物まつり協賛国際チャリティーバザー
11月	広報誌M I A 5 3号発行
12/7	2014クリスマスパーティーin Miki
1/18	第3回国際理解講座 映画「ハーフ」予定
2/8	第4回国際理解講座
	COOL MIKI「英語de落語」「日本語de発表」
2/22	国際料理教室「中国の家庭料理」
3月	広報誌M I A 5 4号発行
3/1	ことばの教室ジョイントミーティング
3/17	第2回理事会

医療通訳セミナー

募集対象/医療関係者、国際交流協会関係者、外国人に関わりある方

8/1(金) 19:00～21:00
北播磨総合医療センター・大会議室

第2回国際理解講座

「日本の海運と移民船サントス丸の思いで」



講師：川野明氏 (元外国航路船長)

募集対象/どなたでも参加無料

9/7(日) 13:00～15:00
教育センター・中研修室

サマーイングリッシュレッスン

講師：オックスフォード・ケンブリッジ大学生



参加費/2,000円(会員)・3,000円(一般)
(昼食代込み)

募集人数/各クラス先着10名(初級・中級・上級)

8/13(水) 10:30～14:30
三木市立中央公民館



PEOPLE LIKE US! FMみっきい

～外国人市民からのメッセージ～

76.1 MHz

毎月 第1・2火曜日 12:15～12:20
(再放送：第3・4火曜日)

第1火曜 防災や市の情報などを外国語で発信

第2火曜 外国人による日本語で発表

7/8	バタク サムラト
8/12	中尾 プラパッソ
9/9	崔 驍斌
10/7	オーストラリア・コロワ市 学生訪問団員 特別出演

*内容が変更になることがあります

ボランティア募集中

譯文化ホストファミリー・金物まつり

などのイベントでボランティアとしてご協力ください。皆さまのご連絡をお待ちしています。

三木市国際交流協会 89-2318

みっきい夏まつり

7/26(土)

外国人が参加します。



編集あとがき



法人・団体会員、一般会員の皆様のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。お陰様で、ことばの教室を皮切りに、多文化共生社会を推進する外国人向けの防災や医療通訳に関するセミナーなど、様々な事業が予定されています。

今年は5年ぶりに姉妹都市交流を行います。10月に豪州コロワ市から学生10名と引率者3名が訪問、10日間滞在されます。できるだけ多くの方に関わっていただき、異文化交流を通してお互いの国について理解を深めたいと思います。

今年度も皆様のお力添えにより活動を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

編集・発行

三木市国際交流協会
Miki International Association

〒673-0492 三木市上の丸町10-30 (市民ふれあい部 市民協働課内)

TEL (0794) 89-2318

FAX (0794) 82-9755

[E-mail] kokusai@city.miki.hyogo.jp

[ホームページ] http://www.city.miki.hyogo.jp/